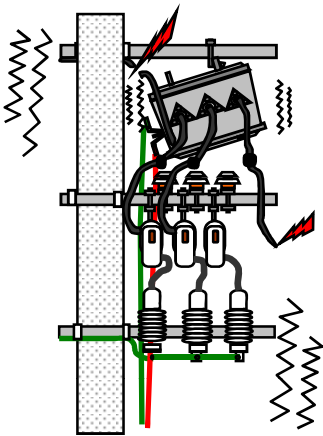


地震に備えて

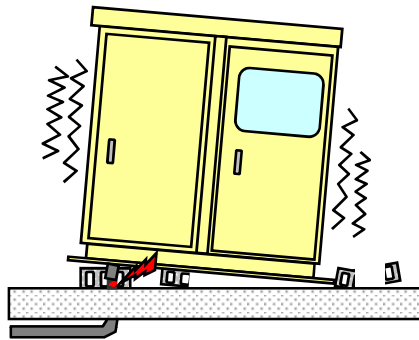
～機器の固定は確実に～

過去の地震における受電設備の被害は、キュービクルや変圧器など機器の移動、転倒によるものが多く、この原因としてはアンカーボルトで固定していなかったものや、ボルトの強度不足が見受けられました。これらのことを教訓に、同じ被害が起こらないよう受電設備を見直しましょう。

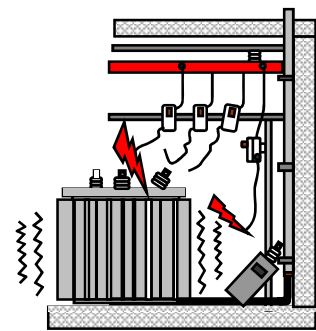
被害事例



引込柱の揺れや傾斜により開閉器が脱落し電線が断線

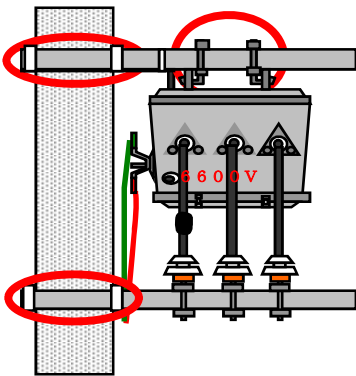


キュービクルの傾斜や地盤沈下によりケーブルが引っ張られ損傷

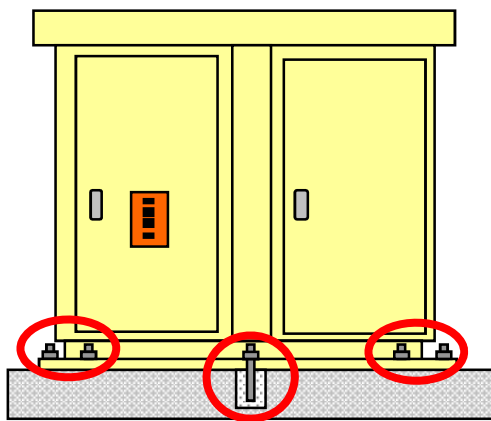


変圧器の移動や転倒によるブッシングの破損

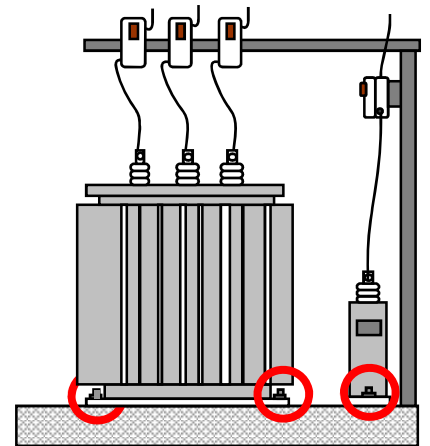
地震対策



アームや開閉器の取付ボルトは強度に余裕を持ったものを使用し、緩まないように施工する。



基礎を強固にし、キュービクルはアンカーボルトで確実に固定する。また、引込ケーブルにはフレキシブルな配管を使用し、ケーブル長にも余裕を持たせる。



変圧器、コンデンサなどの機器はボルトで強固に固定する。

詳細については、最寄りの下記事業所にお問い合わせください。

・徳島支部 088-631-2333 ・高知支部 088-883-8861 ・愛媛支部 089-943-3751 ・香川支部 087-821-9611